

令和6年度第1回

大津市がん対策推進委員会



資料 2

第2期大津市がん対策推進基本計画 (令和7年度～令和12年度) について

令和6年5月30日

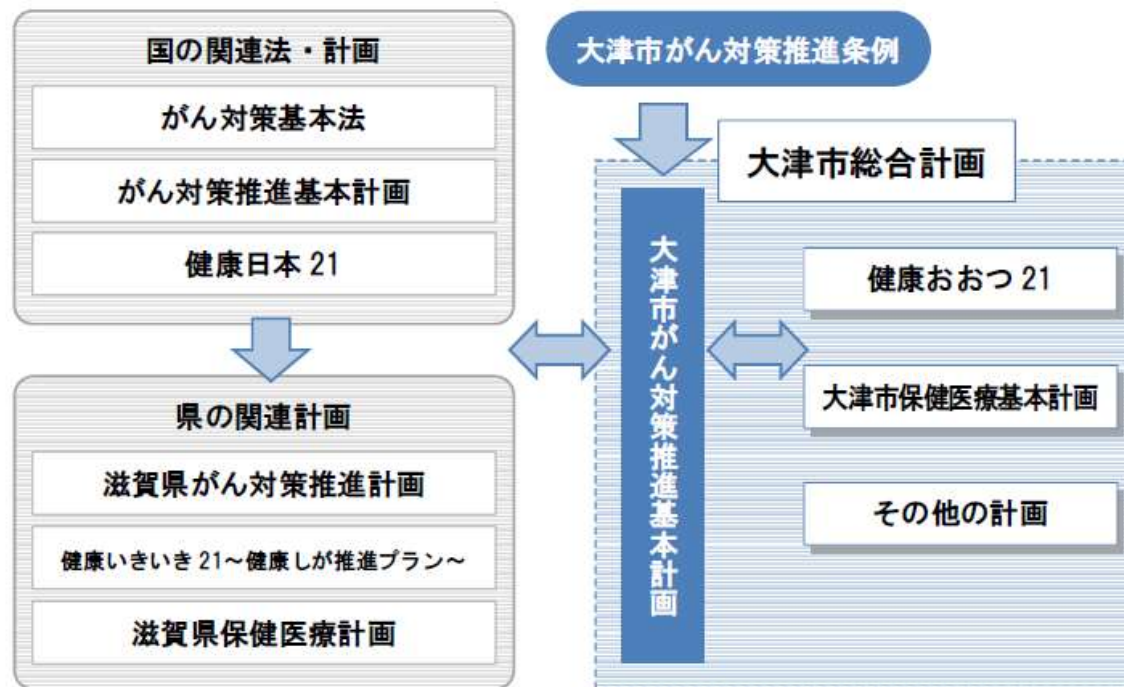
- 1.大津市がん対策推進基本計画
（現計画）の進捗評価 . . . P3
- 2.第2期大津市がん対策推進基本計画
骨子案 . . . P28

1.大津市がん対策推進基本計画 (現計画) の進捗評価



計画の性格と位置づけ

本計画は、「大津市がん対策推進条例」に基づき策定し、本市の健康増進計画である「健康おおつ21（第3次）」の関連計画として位置づけています。また、策定に際しては、国の「がん対策推進基本計画」、「滋賀県がん対策推進計画」等との整合性を図るものとしています。



関連計画と計画期間

関連計画と実施期間(がん対策)

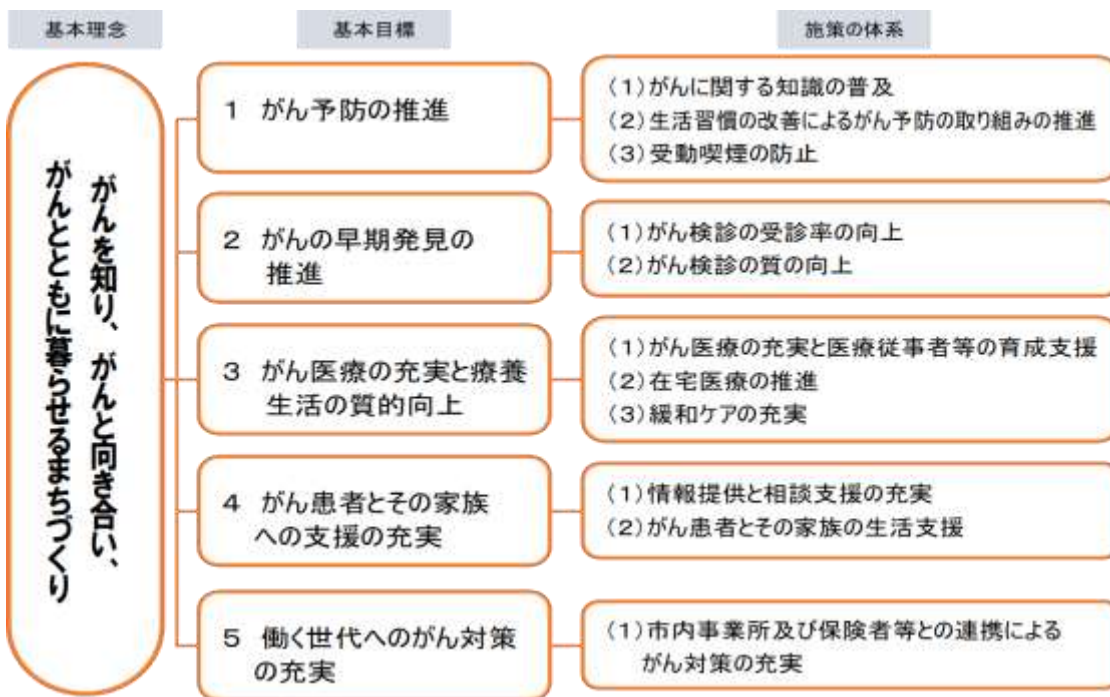
		S59～H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31 (R元)	R2	R3	R4	R5	R6	R7		
国	法	対がん10カ年 総合戦略	がん対策基本法(H19.4.1施行 最終改正H28)																				
	計画		がん対策推進基本計画																				
			第1期					第2期					第3期					第4期					
県	条例								滋賀県がん対策の推進に関する条例(H25.12.27施行)														
	計画		滋賀県がん対策推進計画																				
			第1期					第2期					第3期					第4期					
市	条例											大津市がん対策推進条例(H28.4.1施行)											
	計画											大津市がん対策推進基本計画											
												第1期 ※R3年度中間評価										第2期	

■計画期間

現計画：平成29年度 ～ 令和6年度（8年間）

次期計画：令和7年度 ～ 令和12年度（6年間）

計画の体系と基本目標



1. がん予防の推進

がんに関する正しい知識を普及し、がんに対する認識を深めるとともに、生活習慣の改善や受動喫煙の防止対策によるがん予防の取り組みを推進します。

2. がんの早期発見の推進

がんになり患しても早期の段階で発見し、治療を受けることによりがんによる死亡を減らすことが可能となってきたことから、がん検診の受診率の向上やがん検診の精度管理により、がんの早期発見を推進します。

3. がん医療の充実と療養生活の質的向上

在宅医療の推進やがん医療の充実を図るとともに、がんと診断されたときからの緩和ケアの実施等により、がん患者や家族の療養生活の質の向上を図ります。

4. がん患者とその家族への支援の充実

がん患者やその家族のさまざまな不安や苦痛を和らげ、安心して生活することができるよう、情報提供体制や相談支援体制の充実を図るとともに、がん患者の生活支援を推進します。

5. 働く世代へのがん対策の充実

企業などの事業主と連携し、がん検診の受診勧奨を進め、働く世代のがんの早期発見に努め、早期治療につなげます。また、「がん対策基本法」を踏まえ、企業などの事業主等へのがん患者や家族の雇用継続に向けた啓発に努めます。

現計画の指標の状況

< 評価基準 >

記号	指標の目標値に対する評価	配点
A	目標を達成した	4
B	現時点で目標に達していないが、改善傾向にある	3
C	変わらない	2
D	やや悪化している	1
E	悪化している	0

< 数値増減の表記の見方 >

↑ • ↓	改善傾向
→	変化なし
↑ • ↓	悪化傾向

現計画の指標の状況【基本目標別】

基本目標 1 がん予防の推進

1 がんに関する知識の普及

施策の方向

- がんに関する正しい知識の普及
- がんの種類ごとの正しい知識の普及
- がんの発生リスクやがん予防についての知識の普及

2 生活習慣の改善によるがん予防の取り組みの推進

施策の方向

- 生活習慣の改善によるがん予防についての正しい知識の普及
- 生活習慣の改善によるがん予防の取り組みの推進
- 禁煙希望者への支援の推進

3 受動喫煙の防止

施策の方向

- 受動喫煙防止対策のさらなる推進

がん予防の推進に向けた主な取り組み

市 民	がんに関する認識を深め、自らの生活習慣を見直します。
保健医療関係者	がんの発生リスクや予防に関する情報を提供し、セルフチェックの方法を市民に普及します。
事業者	がんの発生リスクや予防に関する情報を従業員に提供し、生活習慣改善に取り組みやすい職場環境を整えます。
教育関係者	がんに関する教育を行います。
地域団体	市民の生活習慣改善のための啓発や支援を行います。
市	あらゆる機会をとらえ、がんの正しい知識の普及啓発を行います。

現計画の指標の状況【基本目標別】

基本目標 1 がん予防の推進

(1)がんに関する知識の普及

指標項目	目標値 (R6)	策定時 (H28)	中間 評価時 (R2)	最新値 (R5)	数値 増減	目標値 との差	評価	概況
①「多くのがんは早期発見により治癒が可能である」ことを認識している人の割合	70.0%	58.5%	65.2%	69.9%	↑	-0.1%	B	【最新値：市民意識調査】 ①、②についての認識は増加し、回答率は目標値をわずかに下回りましたが、達成に近づいています。 ③で50%以上の回答（知っている）があった項目 「喫煙習慣」（76.2%）↑ 「偏った食生活」（58.4%）↑ 策定時と同様の項目でしたが、回答率はいずれも増加しています。 ③で回答率50%に届かないが、策定時に比べて回答率が増加した項目 「太り過ぎ や やせ過ぎ」（24.7%）↑
②「日本人は、約2人に1人が、将来、がんにかかる」と推測されている」ことを認識している人の割合	50.0%	26.4%	38.7%	48.7%	↑	-1.3%	B	③で策定時に比べて回答率が減少した項目 「他人のたばこの煙を吸う」（44.3%）↓ 「塩分のとり過ぎ」（29.5%）↓ 「野菜・果物不足」（20.9%）↓
③がんになる要因について知っている人が50%以上の項目数の増加	8/8項目	2/8項目	2/8項目	2/9項目	→	-7項目	C	

現計画の指標の状況【基本目標別】

基本目標 1 がん予防の推進

(2) 生活習慣の改善によるがん予防の取り組みの推進

指標項目	区分	目標値 (R6)	策定時 (H27)	中間評価時 (R2)	最新値 (R4)	数値 増減	目標値 との差	評価	概況
①食塩の摂取量の減少	20歳以上男性	8g未満	11.3g	—	12.1g	↑	4.1g オーバー	D	【最新値：令和4年度滋賀の健康・栄養マップ】 ①食塩摂取量については策定時と比較すると、男性で悪化、女性で変化無しでしたが、いずれも目標値に対しては未達となっています。
	20歳以上女性	7g未満	9.7g	—	9.7g	→	2.7g オーバー	C	
②適正体重である人の増加	中高年期男性 (40歳以上)	70%	66.2%	—	68.6%	↑	-1.4%	B	②適正体重（40歳以上）については、男性は改善し達成に近づいていますが、女性は策定時よりも悪化しています（もともとBMI21未満が4割あるところに25以上が増加）
	中高年期女性 (同上)	50%	45.0%	—	41.7%	↓	-8.3%	D	
③運動習慣者の割合の増加	20～64歳男性	28%以上 (R4年度)	25.9%	—	28.0%	↑	+0%	A	③運動習慣については男性は目標値を達成、女性も改善傾向です。
	20～64歳女性	27%以上 (R4年度)	23.1%	—	24.2%	↑	-2.8%	B	
④生活習慣病のリスクを高める量の飲酒をしている人の割合の減少	男性 (20歳以上)	7.7%	10.5%	—	10.3%	↓	2.6% オーバー	B	④飲酒及び⑤喫煙率については成人男性の飲酒率、喫煙率が減少し喫煙率については目標値を達成しています。一方、女性の飲酒・喫煙率が増加（悪化）しています。中高年女性の適正体重、女性の飲酒率・喫煙率等の目標値達成に向けて、がん予防の観点からの生活改善の重要性を発信していくことが必要になっています。
	女性 (20歳以上)	3.0%	4.0%	—	7.1%	↑	4.1% オーバー	E	
⑤成人の喫煙率の減少	男性	18.8%	24.5%	—	16.2%	↓	2.6% 低下	A	
	女性	1.8%	2.6%	—	3.1%	↑	1.3% オーバー	E	

現計画の指標の状況【基本目標別】

基本目標 1 がん予防の推進

(3)受動喫煙の防止

指標項目	区分	目標値 (R6)	策定時 (H27)	中間 評価時 (R2)	最新値 (R4)	数値 増減	目標値 との差	評価	概況
①受動喫煙の 機会を有する者の割合 (※)の減少	家庭	3.0%	6.8%	—	<u>2.8%</u>	↓	-0.2%	A	【最新値：令和4年度滋賀の健康・栄養マップ】 家庭、職場、飲食店のいずれの場所でも受動喫煙の機会は減少しました。 受動喫煙率は家庭では2.8%、飲食店では8.6%となり、この2指標について目標値を達成しています。
	職場	0%	38.5%	—	<u>10.5%</u>	↓	10.5% オーバー	B	
	飲食店	15.0%	49.4%	—	<u>8.6%</u>	↓	-6.4%	A	

※「非喫煙者」が受動喫煙の機会を有する割合

現計画の指標の状況【基本目標別】

基本目標 2 がんの早期発見の推進

1 がん検診の受診率の向上

施策の方向

- がん検診の目的や重要性に関する正しい知識の普及 ●がん検診の種類や受診方法についての情報の普及
- がん検診を受けやすい環境の整備

2 がん検診の質の向上

施策の方向

- 精密検査の必要性についての周知 ●がん検診の結果、要精密検査となった者への精密検査の受診促進
- がん検診指針を踏まえた科学的根拠に基づく質の高い検診の実施 ●がん検診のモニタリングと精度の向上

がんの早期発見の推進に向けた主な取り組み

市 民	がん検診の目的や重要性を認識し、継続的にがん検診を受診します。また精密検査が必要になった場合は、速やかに精密検査を受診します。
保健医療関係者	がん検診の継続受診につながるよう周知・啓発し、また精密検査対象者には検査を受けるよう促します。
事業者	従業員へがん検診の受診勧奨に努めます。また、精密検査が必要になった場合は、精密検査の受診につなげます。
教育関係者	高等教育機関の学生に対して、子宮頸がん検診の情報提供に努めます。
地域団体	がん検診受診の重要性を伝え、受診勧奨を行います。
市	大津市のがん検診の情報提供を行うなど受診率の向上に努めます。また、精密検査対象者に対して、精密検査の受診を促進します。

現計画の指標の状況【基本目標別】

基本目標 2 がんの早期発見の推進

(1) がん検診の受診率の向上

指標項目	区分	目標値 (R6)	策定時 (H27or28)	中間評価 時(R2)	最新値 (R5)	数値 増減	目標値 との差	評価	
①がん検診の受診率 の向上 (大津市の検診、職場検診、 人間ドック等を含むがん検診 受診率)	胃がん検診	60%	53.4%	54.0% ↑	54.2%※	↑	-5.8%	B	【最新値：市民意識調査】 市の検診、職場の検診につい ては、策定時と比較するとい ずれの検診も受診率が増加して います。乳がん検診と子宮がん 検診については目標値をわずかに 下回りました。
	肺がん検診	70%	51.6%	61.1% ↑	62.4%	↑	-7.6%	B	
	大腸がん検診	70%	58.7%	57.5% ↓	61.7%	↑	-8.3%	B	
	子宮頸がん検診	60%	47.9%	53.8% ↑	58.1%	↑	-1.9%	B	
	乳がん検診	60%	47.4%	55.2% ↑	59.0%	↑	-1.0%	B	
②大津市がん検診受 診率の向上 (胃がん検診・肺がん検診・ 大腸がん検診の受診率には、 大津市国保加入者の人間ドッ ク含む)	胃がん検診	8.1%	4.8% (H27,以下同)	4.1% ↓	8.0%	↑	-0.2%	B	【最新値：大津市保健所】 各検診の受診率は、大腸がん を除いて、増加傾向にあります。 このうち、子宮頸がん検診の受 診率は目標値を上回りました。
	肺がん検診	26.9%	17.7%	16.7% ↓	19.1%	↑	-7.8%	B	
	大腸がん検診	30.5%	24.9%	16.6% ↓	19.5%	↓	-11.0%	D	
	子宮頸がん検診	46.5%	34.4%	49.5% ↑	51.5%	↑	+5.0%	A	
	乳がん検診	37.9%	25.3%	27.3% ↑	32.1%	↑	-5.8%	B	
③がん検診の継続受 診の割合の増加 (定期的に受けている人の割 合の増加)	胃がん検診	50%	33.5% (H28,以下同)	37.8% ↑	34.7%	↑	-15.3%	B	【最新値：市民意識調査】 各検診の継続受診率は増加し ていますが、いずれも目標値に は届いていません。
	肺がん検診	50%	38.6%	49.3% ↑	47.2%	↑	-2.8%	B	
	大腸がん検診	50%	36.5%	42.3% ↑	39.8%	↑	-10.2%	B	
	子宮頸がん検診	40%	29.9%	35.5% ↑	37.7%	↑	-2.3%	B	
	乳がん検診	40%	30.9%	43.0% ↑	37.9%	↑	-2.1%	B	

現計画の指標の状況【基本目標別】

基本目標2 がんの早期発見の推進

(2) がん検診の質の向上

指標項目	区分	目標値 (R6)	策定時	中間 評価時	最新値	数値 増減	目標値 との差	評価	概況
①がん検診精密検査受診率の向上	胃がん検診	100%	89.8% (H26,以下同)	93.0%↑ (R元,以下同)	94.9% (R3,以下同)	↑	-5.1%	B	【最新値：地域保健・健康増進報告】 各精密検査の受診率は増加しており、特に乳がんと子宮頸がんの精密検査受診率は目標値に近づいています。 しかし、大腸がんの精密検査受診率については目標値との乖離が10%以上あります。
	肺がん検診	100%	88.8%	94.5%↑	94.9%	↑	-5.1%	B	
	大腸がん検診	100%	80.7%	89.0%↑	89.3%	↑	-10.7%	B	
	子宮頸がん検診	100%	91.1%	95.0%↑	97.4%	↑	-2.6%	B	
	乳がん検診	100%	94.6%	97.9%↑	98.0%	↑	-2.0%	B	
②がんの早期診断割合の増加 (策定時)「統計でみる滋賀県のがん」二次医療圏より (H29) 病巣の拡がり (2017年全国がん登録 滋賀県がん情報) (R元) がんの発見経緯と病巣の拡がり (2019年全国がん登録 全国との比較)	胃がん検診	増加	56.8% (H21-25,以下同)	56.8%→ (H29)	69% (R元,以下同)	↑	+12.2%	A	【最新値：全国がん登録】 策定時と比較すると、胃がん、肺がん及び乳がんの早期発見の割合は増加し目標を達成しています。 大腸がんと子宮頸がんの早期発見の割合は減少しています。
	肺がん検診	増加	33.9%	37.8%↑ (H29)	40%	↑	+6.1%	A	
	大腸がん検診	増加	66.3%	57.4%↓ (H29)	61%	↓	-5.3%	D	
	子宮頸がん検診	増加	83.9%	84.6%↑ (H29)	77%	↓	-6.9%	D	
	乳がん検診	増加	67.7%	70.0%↑ (H29)	68%	↑	+0.3%	A	
③がん検診の管理をする事業所割合の増加		50%	40.9% (H28)	46.8%↑ (R2)	40.1% (R5)	↓	-9.9%	D	【最新値：事業所意識調査】 がん検診の管理をする事業所割合は、策定時と比べてやや減少し、目標値には至っていません。

現計画の指標の状況【基本目標別】

基本目標 3 がん医療の充実と療養生活の質的向上

1 がん医療の充実と医療従事者等の育成支援

施策の方向と主な成果指標

- がんに関する医療機関やクリティカルパスの周知
- 県や医療機関などとの連携によるがん医療の充実
- 小児がん患者が速やかに適切な治療を受けられるための関係機関との連携の充実
- がん医療に関わる人材の確保
- 医療機関（病院・診療所）のがん医療に係る医療機能に関する情報提供（大津市がん医療マップの作成）

2 在宅医療の推進

施策の方向と主な成果指標

- スムーズな移行に向けての病院との連携の強化
- 在宅療養を支援するための多職種連携の強化
- 在宅療養の仕組みについての情報提供

3 緩和ケアの充実

施策の方向と主な成果指標

- 緩和ケアの意義や必要性の周知・啓発
- 緩和ケアを受けられる病院や相談先の情報提供

がん医療の充実と療養生活質的向上に向けた 主な取り組み

市 民	治療や療養生活を自分で選択できるよう、必要な情報を収集します。
保健医療関係者	がん医療や緩和ケア、後遺症対策などの充実に向け、医師や専門職の確保に努めるとともに、医療従事者間の連携と補完を重視した多職種連携に努めます。
事業者	従業員が治療を受けながら仕事が継続できるよう、制度の周知・啓発と活用の助言などに努めます。
教育関係者	がん患者が治療を受けながら学習が継続できるよう相談体制づくりに努めます。
地域団体	地域の社会資源、在宅医療及び緩和ケアについて情報収集に努め、必要な人に提供します。
市	在宅療養の仕組みや在宅看取りについての周知・啓発に努めます。緩和ケアを受けることができる病院、相談先などの情報提供を行います。

現計画の指標の状況【基本目標別】

基本目標 3 がん医療の充実と療養生活の質的向上

(1)がん医療の充実と医療従事者等の育成支援

指標項目	目標値 (R6)	策定時 (H28)	中間 評価時 (R元)	最新値	数値 増減	目標値 との差	評価	概況
①がん診療連携拠点病院・支援病院 におけるがん看護専門看護師の増加	7人	4人	4人→	5人 (R6.4月)	↑	-2人	B	【最新値】 ①（公社）日本看護協会 ②：滋賀県「令和5年度がん診療 連携拠点病院等現況報告書」 ①がん診療連携拠点病院・支 援病院におけるがん看護専門 看護師は1人増加しました。 ②がん診療連携拠点病院・支 援病院における専門的なメ ディカルスタッフについては 114人と大幅に増加し、目標 値の倍の数値で達成していま す。
②がん診療連携拠点病院・支援病院 における専門的なメディカルスタッ フの増加	54人	45人	49人↑	114人 (R5年9 月時点)	↑	+60人	A	

現計画の指標の状況【基本目標別】

基本目標 3 がん医療の充実と療養生活の質的向上

(2)在宅医療の推進

指標項目	目標値 (R6)	策定時 (H28)	中間 評価時	最新値	数値 増減	目標値 との差	評価	概況
①自宅で最後まで療養したいと思う人の割合の増加	30%	17.3%	20.3% ↑ (H29市民講座)	19.8% (R5)	↑	-10.2%	B	【最新値】 ①市民意識調査 ②～④大津市保健所
②在宅医療の利用者数の増加	2,900人	1,793人	1,909人/月 ↑ (R2.10)	2,028人/月 (R4.10)	↑	-872人	B	①「自宅で最後まで療養したいと思う人」の割合は19.8%で策定時より増加しています。
③麻薬管理可能薬局割合の増加	100%	84%	86.0% ↑ (R2)	91.0% (R6.4)	↑	-9.0%	B	②在宅医療利用者数は少しずつ増加しています。
④訪問看護師数の増加 (常勤換算)	131人	95.5人 (H28)	193.2人 ↑ (R2.9)	256.4人 (R5.9)	↑	+125.4人	A	③麻薬管理可能薬局の割合も91.0%と目標値に近づいています。 ④訪問看護師数はほぼ2倍近く増加しており、在宅医療の資源は増加しています。

現計画の指標の状況【基本目標別】

基本目標 3 がん医療の充実と療養生活の質的向上

(3)緩和ケアの充実

指標項目	目標値 (R6)	策定時 (H28)	中間 評価時	最新値	数値 増減	目標値 との差	評価	概況
①滋賀県緩和ケア研修 会修了者数の増加 (累計)	1,000人	597人 (H20-28)	961人 ↑	<u>1,127人</u> (R4) R4年度修了者 (大津市管内) 89人)	↑	+38人	A	【最新値：滋賀県】 令和4年度末時点で滋 賀県緩和ケア研修会修了 者数は累計1,127人と目 標値を達成しました。 また、同修了者のいる 医療機関等も累計57カ所 と増加しています。
②滋賀県緩和ケア研修 会修了者のいる医療機 関等の増加 (累計)	100カ所	49カ所 (H20-28)	54カ所 ↑	57カ所 (R4) (参考) R4年度受講医療機関 (大津市管内) 7医療機関	↑	-43カ所	B	

3. 現行計画の指標の状況【基本目標別】

基本目標4 がん患者とその家族への支援の充実

1 情報提供と相談支援の充実

施策の方向

- がんに関する効果的な情報提供
- ピア・サポートの充実
- 相談窓口やがん患者サロンなどの情報提供の充実
- がん患者とその家族が相談しやすい体制づくり

2 がん患者とその家族の生活支援

施策の方向

- アピアランスケアについての情報提供と支援
- 子育て中や介護中のがん患者等が安心して治療を受けられるための環境づくり
- 後遺症により生活に支障をきたしている患者のQOLの向上のための支援

がん患者とその家族への支援の充実に向けた主な取り組み

市 民	がん相談支援センターや地域の窓口を利用します。
保健医療関係者	がん相談支援センターやがん患者サロンと連携を図ります。アピアランスケアについての情報提供を行います。
事業者	がんになり患った従業員のサポートに努めます。
教育関係者	がん患者が治療と学習を両立する上での相談に応じます。
地域団体	がん相談支援センター等相談支援窓口の紹介あるいは相談支援の機能を担い、がん患者の安心へのサポートに努めます。 アピアランスケアについての必要な情報を収集し、提供します。
市	がん相談支援センターや専門相談などの情報を一元化し、情報提供を行います。

現計画の指標の状況【基本目標別】

基本目標4 がん患者とその家族への支援の充実

(1)情報提供と相談支援の充実

指標項目	目標値 (R6)	策定時 (H28)	中間 評価時	最新値	数値 増減	目標値 との差	評価	概況
①ピアサポーター 養成講座を受講 し活動している 人数の増加	40人	17人	21人 ↑ (R元)	16人 (R6.5.1)	↓	-24人	D	【最新値】 ①滋賀県がん患者団体連絡協議会 ②滋賀県 ①大津市のピアサポーターは活動中が16人で、計画策定時よりも1人減少しています。
②がん相談支援センター等、がん患者相談支援機関における相談者件数の増加	3,000件	1,250件 (H28)	989件 ↓ (R2)	1,127件 (R4)	↓	-1,873件	E	②がん相談支援センター等における相談者件数は中間評価時の989件と比べると令和4年度末で1,127件と増加しているものの、計画策定時との比較においては相談件数は123件減少しています。 (参考) 滋賀県では、滋賀県がん患者団体連絡協議会を中心に、がんの指定病院の協力のもと、ピアサポーター養成講座を開催しています。令和4年度のがん患者サロンは、12か所で実施しており、ピアサポーターを含めて727人が参加していますが、サロンのがん患者の参加者は減少しています。

現計画の指標の状況【基本目標別】

基本目標4 がん患者とその家族への支援の充実

(2) がん患者とその家族の生活支援

指標項目	目標値 (R6)	策定時 (H28)	中間 評価時	最新値 (R5)	数値 増減	目標値 との差	評価	概況
①アピアランスケアについて情報提供をする機関の増加	7か所	4 か所	4 か所→ (R2)	<u>9 か所</u>	↑	+2カ所	A	【最新値：大津市保健所】 平成30年10月からアピアランスケア助成事業を開始し、申請件数は令和3年度以降、年間140件程度で推移しています。 (費用助成実績) 令和元年度 124件 令和2年度 122件 令和3年度 147件 令和4年度 144件 令和5年度 147件

3. 現行計画の指標の状況【基本目標別】

基本目標5 働く世代へのがん対策の充実

1 市内事業所及び保険者等との連携によるがん対策の充実

施策の方向と主な成果指標

- たばこの害やがんに関する情報提供
- 事業所及び保険者等との連携によるがん検診の実施やがん検診・精密検査の受診勧奨
- がん患者やその家族の就労継続に向けた情報提供と相談の充実
- 小規模事業所ががん検診に対して積極的に取り組める環境の整備

働く世代へのがん対策の充実

市 民	がん検診を継続的に受診し、がんの早期発見に努めます。 がん患者及びその家族が就労継続できるよう支え合います。
保健医療関係者	事業者や市と連携しながら、がん検診や精密検査を受けやすい環境づくりに努めます。 がん患者が治療と仕事の両立が可能となるよう、事業者の相談に応じます。
事業者	事業所内での受動喫煙防止の取り組みに努めます。 がん検診や精密検査を受けやすい環境づくりと受診勧奨に努めます。 がん患者が治療と仕事の両立が可能となるよう、事業者の相談に応じます。
教育関係者	がん患者を家族に持つ児童や生徒への支援に努めます。
地域団体	市や医療機関などと連携しながら、治療と仕事の両立が可能となるよう、相談支援に努めます。
市	受動喫煙防止に向けた周知・啓発を行います。 事業所及び保険者等との連携により、がん検診受診率の向上に努めます。

現計画の指標の状況【基本目標別】

基本目標5 働く世代へのがん対策の充実

(1)市内事業所及び保険者等との連携によるがん対策の充実

指標項目	目標値 (R6)	策定時 (H28)	中間 評価時 (R2)	最新値 (R5)	数値 増減	目標値 との差	評価	概況
①がん予防や検診 受診促進のため に取り組んでいる事業 所の割合の増加	100%	47.5%	82.0% ↑	58.6%	↑	-41.4%	B	【最新値：事業所意識調査】 ①、③の割合は増加し改善が進んでいます。 ②の「全くがん検診を実施していない事業所」は 前回よりも増加しています。 病気や怪我の時に利用可能な制度に関する上位回答 「病気の治療目的の休暇・休業制度」32.2% 「半日単位の休暇制度」27.9% 「時差出勤制度」21.3% 過去調査と比べて減少傾向にある中、「検診・人間 ドックを受けるための休暇制度」については、過去調 査と比べて増加しました。
②全くがん検診を 実施していない 事業所の割合の 減少	0%	27.7%	30.4% ↓	30.9%	↑	30.9% オーバ－	D	従業員が病気や怪我をした際の休暇・休職・勤務形 態などを就業規則で「規定している」は65.6%で、過 去調査と比べて増加傾向です。 今後、仕事と治療の両立が実現できる職場が必要に なると思うかとの問いに対し、「必要性を感じてい る」「どちらかというとも必要性を感じている」と答え た企業の割合は89.9%で、過去調査と比べて増加傾向 です。
③がんになり患した 従業員が就労継 続できる事業所 の割合の増加	100%	74.7%	74.5% ↓	76.9%	↑	-23.1%	B	

現計画の評価【総論①】

項目別にみた指標の達成・改善状況の評価

基本目標	項目	A	B	C	D	E	項目数
1.がん予防の推進	(1)がんに関する知識の普及	0	2	1	0	0	3
	(2)生活習慣の改善によるがん予防の取り組みの推進	2	3	1	2	2	10
	(3)受動喫煙の防止	2	1	0	0	0	3
2.がんの早期発見の推進	(1)がん検診の受診率の向上	1	13	0	1	0	15
	(2)がん検診の質の向上	3	5	0	3	0	11
3.がん医療の充実と療養生活の質的向上	(1)がん医療の充実と医療従事者等の育成支援	1	1	0	0	0	2
	(2)在宅医療の推進	1	3	0	0	0	4
	(3)緩和ケアの充実	1	1	0	0	0	2
4.がん患者とその家族への支援の充実	(1)情報提供と相談支援の充実	0	0	0	1	1	2
	(2)がん患者とその家族の生活支援	1	0	0	0	0	1
5.働く世代へのがん対策の充実	(1)市内事業所及び保険者等との連携によるがん対策の充実	0	2	0	1	0	3
合計	評価毎の項目数	12	31	2	8	3	56
	全項目数に占める割合	21.4%	55.4%	3.6%	14.3%	5.4%	100.0%

<各指標の評価の点数化について>

- ※E「悪化している」の評価基準
 下記①または②に該当する場合
 ①変動幅が2割以上悪化している場合
 ②策定時と比べて数値が悪化している、かつ達成度が目標値の4割未満の場合

記号	指標の目標値に対する評価	配点
A	目標を達成した	4
B	現時点で目標に達していないが、改善傾向にある	3
C	変わらない	2
D	やや悪化している	1
E	悪化している	0

現計画の評価【総論②】

項目別にみた指標の達成・改善状況

基本目標の項目ごとに、達成・改善状況の評価を点数化（A4点、B3点、C2点、D1点、E0点）し、平均点を出しています。

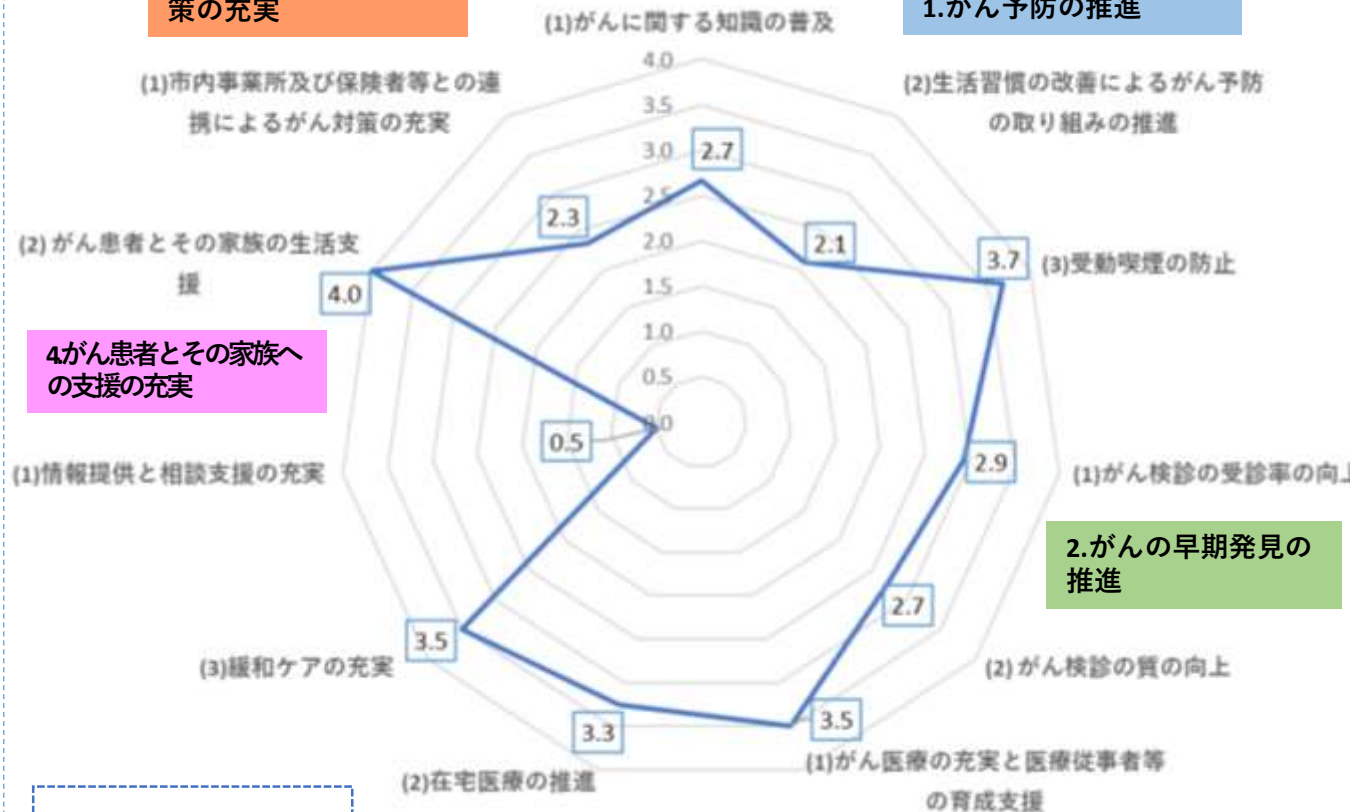
ほぼすべての項目で2.0点を超えています。 「情報提供と相談支援の充実」のみ、0.5点にとどまりました。情報提供と相談支援については、関係機関等、現場での課題や市民ニーズに沿った指標の見直しが必要です。

加えて、以下の項目は平均点2.0を超えたものの3.0点以下であり、今後の対策強化が必要と考えられます。

- ①がんに関する知識の普及
- ②生活習慣の改善によるがん予防の取り組みの推進（運動以外の面）
- ③がん検診の受診率の向上
- ④がん検診の質の向上
- ⑤市内事業所及び保険者等との連携によるがん対策の充実

5.働く世代へのがん対策の充実

1.がん予防の推進



4がん患者とその家族への支援の充実

段階別評価の合計点数を項目数で割った平均点

3.がん医療の充実と療養生活の質的向上

指標にみる達成・改善状況

多くの項目で策定時よりも改善がみられ、市のがん対策は着実に進んでいます。目標の56指標のうち、達成された指標は12項目あり全指標の約21%を占めています。また、達成には至らないものの、策定時に比べて改善された指標は31項目あり全指標の約55%を占め、合わせて約77%の指標が改善されています。達成された主な指標は以下になります。

<基本目標1 がん予防の推進>

- ・20～64歳の年齢階層における男性の運動習慣者の割合増加
- ・成人男性の喫煙率減少
- ・飲食店での受動喫煙率の減少

<基本目標2 がんの早期発見の推進>

- ・市の検診における子宮頸がんの受診率向上
- ・胃がん・肺がん・乳がんの早期診断の割合の増加

基本目標	評価					項目数
	A	B	C	D	E	
1.がん予防の推進	4	6	2	2	2	16
2.がんの早期発見の推進	4	18	0	4	0	26
3.がん医療の充実と療養生活の質的向上	3	5	0	0	0	8
4.がん患者とその家族への支援の充実	1	0	0	1	1	3
5.働く世代へのがん対策の充実	0	2	0	1	0	3
評価毎の項目数	12	31	2	8	3	56
全項目数に対する割合	21.4%	55.4%	3.6%	14.3%	5.4%	100.0%

基本目標別にみるポイントと今後の取り組み

<基本目標1 **がん予防の推進**>

がん予防のために「がんになる要因」についての知識普及をさらに進める必要があります。生活習慣の内、食塩摂取量の抑制（男性）や適正体重の維持（中高年女性）、女性の飲酒・喫煙率については計画策定時より数値が悪化しており、がん予防とからめた今後の知識普及が必要です。このため、事業所や学校教育との連携等により多面的な普及を図り、がん予防への理解を深め、具体的な行動変容につなげていくために個人へのアプローチが必要です。

<基本目標2 **がんの早期発見の推進**>

がんの早期発見については、検診受診率の向上面で大幅な改善がみられ、15指標の内、達成が1件、改善が13件と大幅に改善しています。しかし、胃がんについては策定時から市全体の検診受診率が伸び悩んでおり、受診率向上に向けた取り組みの強化が必要です。

<基本目標3 **がん医療の充実と療養生活の質的向上**>

訪問看護師・緩和ケア研修修了者の数や、麻薬管理を可能とする薬局の割合が増加しており、在宅医療の利用者の増加につながっています。

がんと診断された場合に自宅療養を希望する人は年々増加傾向にあることから、がん末期患者の訪問診療やケアに対応可能な在宅医療提供体制の充実が必要となっています。

<基本目標4 **がん患者とその家族への支援の充実**>

医療機関の患者相談支援窓口における相談件数は策定時から減少しており、相談体制等、現場における課題の把握が必要です。

アピアランスケアについては、医療機関の患者相談支援窓口や、ウィッグ等補正用具を取り扱う業者等から制度の案内をしていただいています。

<基本目標5 **働く世代へのがん対策の充実**>

事業所意識調査では、中小企業におけるがん予防や検診受診等の取り組み強化が必要という結果となっています。また、中小企業においても仕事と治療の両立が実現できる職場の必要性を感じていることから、医療関係者、地域団体、産業保健の支援機関等との連携により、中小企業のがん検診受診促進並びに仕事と治療の両立支援の環境整備に関する取り組みを進める必要があります。

2.第2期大津市がん対策推進 基本計画骨子案

【国】第4期がん対策推進基本計画見直しのポイントと 国・滋賀県の計画との整合性について

■国における主な見直し内容

1. がん予防

- ・「**がん検診受診率**」の目標について、いずれのがん種においても増加傾向であり、一部のがん種で目標値を達成できたことから、さらなる受診率向上を目指し50%から60%に引き上げ

2. がん医療

- ・「**緩和ケア**」について、すべての医療従事者が診断時から治療と併せて取り組むべきとの趣旨から、がん医療分野の中に記載
- ・ドラッグラグ等の課題に対し、新たな診断技術・治療法へのアクセスを確保する観点から、新たな技術の「**速やかな医療実装**」に関する項目を新規に追加し、国際共同治験への参加を含め、治験の実施を促進する方策の検討などの取り組みを推進

3. がんとの共生

- ・治療を継続しながら社会生活を送るがん患者が増加する中で、治療に伴う外見変化に対するサポートが重要であることを踏まえ、「**アピアランスケア（※）**」を独立した項目として記載し、拠点病院等を中心としたアピアランスケアに係る相談支援・情報提供体制の構築等を推進

※医学的・整容的・心理社会的支援を用いて、外見の変化を補完し、外見の変化に起因するがん患者の苦痛を軽減するケア

4. これらを支える基盤

- ・国民本位のがん対策を推進する観点から「**患者・市民参画**の推進」を、医療・福祉・保健サービスの効率的・効果的な提供や、患者やその家族等のサービスへのアクセシビリティ向上の観点から「**デジタル化**の推進」を、新規追加
- ・「**全ゲノム解析等実行計画2022**」の着実な推進を記載

■国 第4期がん対策推進基本計画

<全体目標>

誰一人取り残さないがん対策を推進し、
全ての国民とがんの克服を目指す。

<柱立て>

- 1.がん予防
- 2.がん医療
- 3.がんとの共生
- 4.これらを支える基盤

■滋賀県 がん対策推進計画（第4期）

<基本理念>

誰もが自分らしく幸せを感じられる

「健康しが」の実現

～県民が、がんを知り、がんを予防し、がんになっても納得した医療・支援が受けられ、自分らしく暮らせる滋賀を目指して～

<全体目標>科学的根拠に基づくがん予防・

がん検診の充実

患者本位のがん医療の実現

尊厳をもって安心して暮らせる

社会の構築

<柱立て>

- 1.がんの予防
- 2.がん医療の充実
- 3.がんとの共生
- 4.これらを支える基盤の整備

【国】第4期がん対策推進基本計画との整合性 現計画と第2期素案の考え方（体系整理）

大津市では現計画の評価を踏まえ、目標値と現状値に乖離があった項目について引き続き課題解決に取り組むとともに、新たに必要な課題解決に取り組みます。第2期計画の検討にあたっては、国の『第4期がん対策推進基本計画』（令和5年3月策定）との整合性を図ります。「がん医療」については、国や都道府県等の広域行政が担うものとして施策体系を整理します。

■市 現計画

※国第4期の要素で色分けしている

1 がん予防の推進

2 がんの早期発見の推進

3 がん医療の充実と療養生活の質的向上

4 がん患者とその家族への支援の充実

5 働く世代へのがん対策の充実

■国 第4期がん対策推進基本計画

1.がん予防

- (1)がんの一次予防
- (2)がんの二次予防（がん検診）

2.がん医療の充実（※）

3.がんとの共生

- (1)相談支援及び情報提供
- (2)社会連携に基づく緩和ケア等のがん対策・患者支援
- (3)がん患者等の社会的問題への対策（サバイバーシップ支援）
- (4)ライフステージに応じた療養環境への支援

4.これらを支える基盤の整備

- (1)全ゲノム解析等の新たな技術を含む更なるがん研究の推進（※）
- (2)人材育成の強化（※）
- (3)がん教育及びがんに関する知識の普及啓発
- (4)がん登録の利活用の推進
- (5)患者・市民参画の推進
- (6)デジタル化の推進

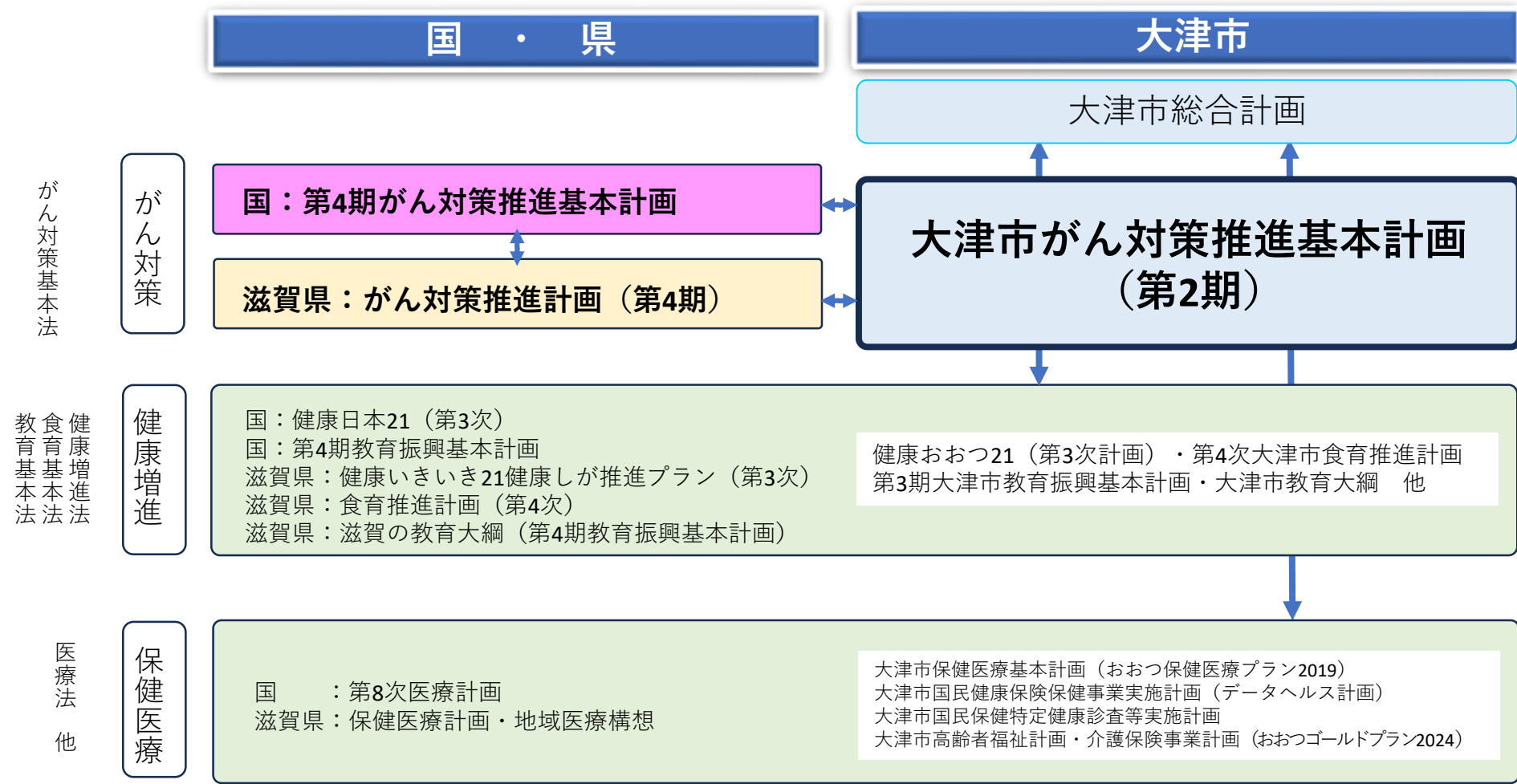
■市 第2期計画素案 体系整理

1.がんの予防

2.がんとの共生

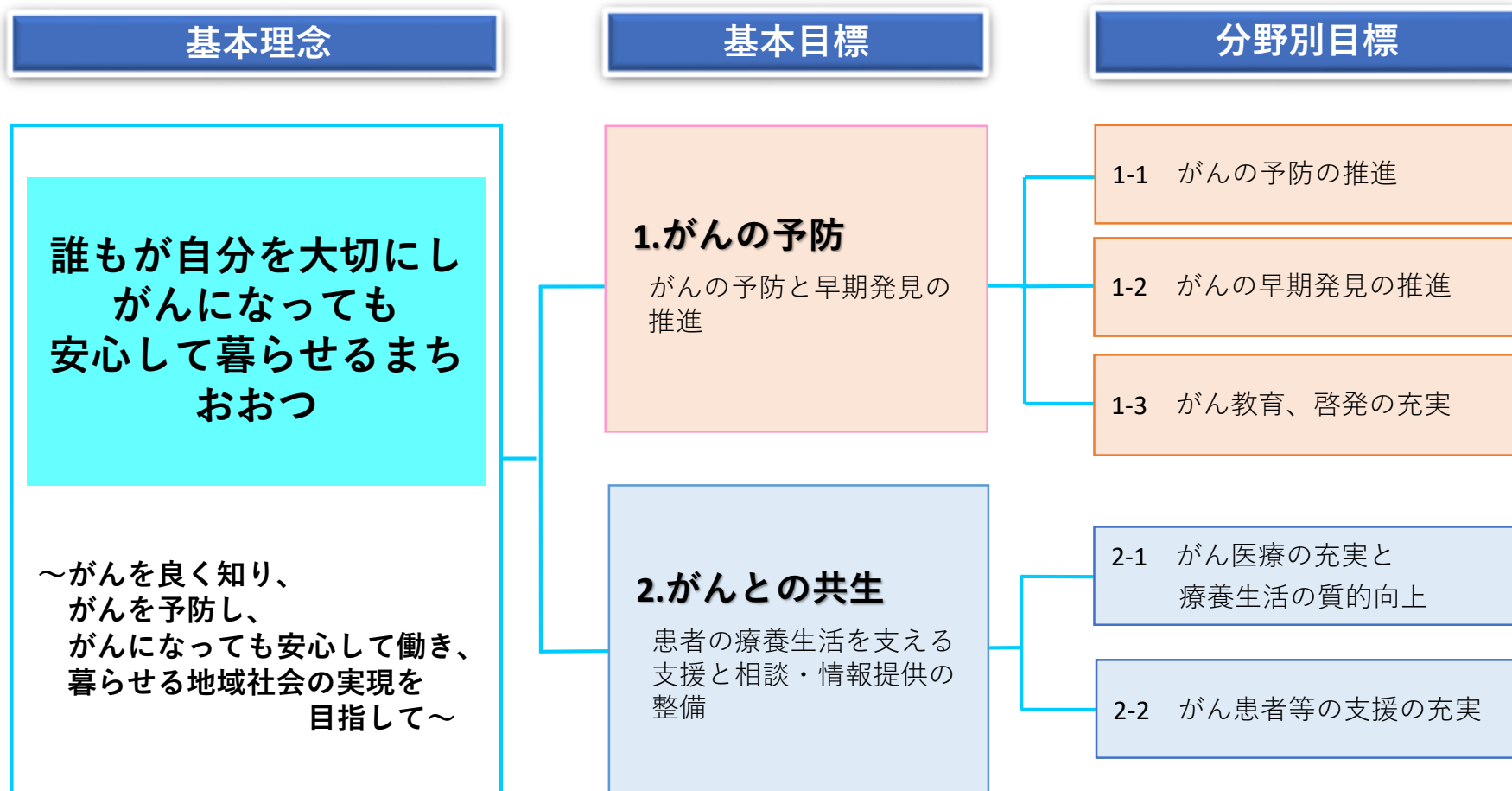
第2期大津市がん対策推進基本計画骨子案

①主な関連計画



第2期大津市がん対策推進基本計画骨子案

②基本理念、目標



第2期大津市がん対策推進基本計画骨子案

③施策、目指すべき姿

分野別施策

1-1 がんの予防の推進

- (1)がん予防に関する科学的知識の普及
- (2)生活習慣の改善によるがん予防の取り組みの推進
- (3)受動喫煙の防止

1-2 がんの早期発見の推進

- (1)がん検診の受診率の向上
- (2)がん検診の質の向上

1-3 がん教育、啓発の充実

- (1)学校教育におけるがん教育の充実
- (2)市民に対する研修機会等の充実
- (3)事業所との連携による知識の普及

2-1 がん医療の充実と療養生活の質的向上

- (1)在宅医療の推進
- (2)緩和ケアの理解促進と充実

2-2 がん患者等の支援の充実

- (1)がん治療に関する相談体制整備と情報提供の充実
- (2)市内事業所等と連携した両立支援の相談対応
- (3)アピアランスケアの情報提供と利用支援

目指すべき姿

初期アウトカム

○がんについて正しく理解する市民が増え、検診や治療に安心して取り組み、生活習慣や職場環境の改善が進んでいる

○職場の理解と支援を受けてがん検診を受ける人が増加している
○早期発見・早期治療が進んでいる

○子どもや若者が学校教育の中で、がんに関する科学的知識を学んでいる
○地域や職場で健康的な生活習慣やがんの早期発見について知る機会が増えている

○がん治療の在宅医療を利用しやすくなっている
○緩和ケアに対応している医療機関を知ることができる

○がん患者が相談しやすい窓口が地域にあり、情報を得られやすくなっている
○がん患者が治療と仕事を両立し、就労を継続している
○アピアランスケアを必要としているがん患者が、安心して日々の暮らしを続けている

中間アウトカム

<がんの予防>

がんの罹患率、がんによる死亡率が低下している

<がんとの共生>

がん患者及びその家族等の療養生活の質が向上している

最終アウトカム

自分を大切にし、がんになっても安心して暮らせると感じている人が多い

第2期大津市がん対策推進基本計画骨子案

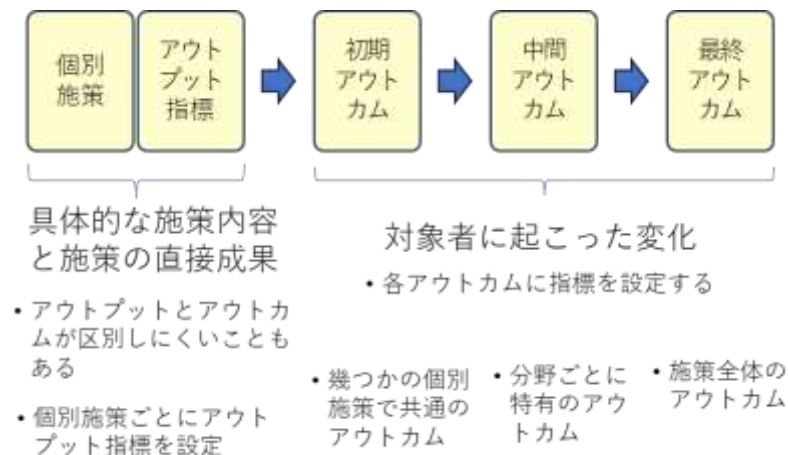
④目標の達成状況の把握について

- 方針1 基本計画の進捗状況を適切に把握し、管理するため、3年を目途に中間評価を行うこととする。
- 方針2 評価にあたっては、全体目標、分野別目標及び個別目標と各施策の関連性を明確にし、PDCAサイクルの実効性を確保するため、ロジックモデルを活用した科学的・総合的な評価を行い、必要に応じてその結果を施策に反映することとする。

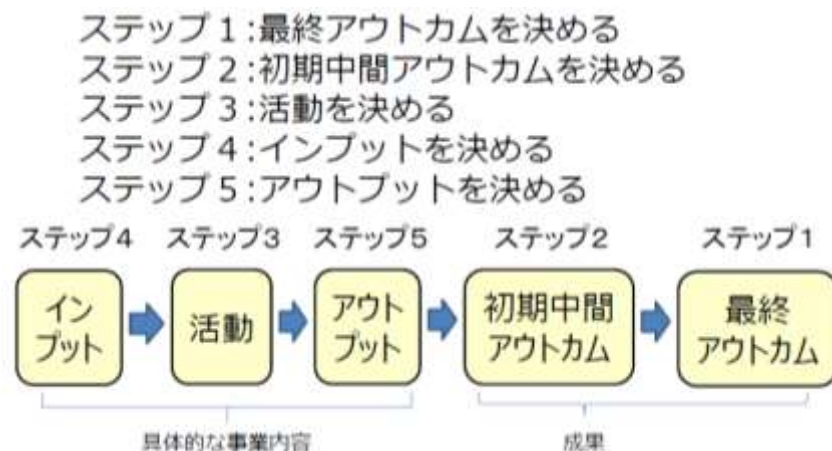
ロジックモデル作成の目的

- ・ 構図を図示し、全体像を把握する。
- ・ アウトカムを共通認識として共有する。
- ・ 個別施策とアウトカム（初期、中間、最終）のつながりを確認することにより、個別施策の適切さを検討する。
- ・ 指標を設定し、評価に繋げる。

ロジックモデル作成の基本構造について



ロジックモデルの作成手順



次期計画策定までのスケジュール

令和6年	5月30日	がん対策推進委員会（1回目） ・ 現計画進捗評価、次期計画骨子案の説明
	10月	がん対策推進委員会（2回目） ・ 計画素案の説明
	12月下旬	パブリックコメントの実施 ※ 1月中旬まで実施予定
令和7年	2月	がん対策推進委員会（3回目） ・ 計画最終案の説明
	3月	計画策定